



みんなで子育て No.7

岐阜市立長森東小学校「わが家のステイホーム」

6月にお願いした「心ぽかぽかわが家のステイホーム」、岐阜市立長森東小学校の家庭教育学級の取組として実践され、134通送っていただきました。ありがとうございます。

掲載可能とされているものが70通以上あります。すべての紹介は難しいですが、書かれた内容についてみると

- 1 誰とかかわったか：・親子で58件 ・兄弟で27件 ・祖父母と8件 ・ペット等4件
- 2 何をしたか：・料理42件 ・ゲームや趣味25件 ・お手伝い19件
・散歩など運動19件 ・お話をできた18件 ・お留守番10件 ・掃除7件
- 3 感想：・練習してできるようになった23件 ・子どもの成長を感じた10件
・うれしかった28件 ・楽しかった21件 ・感謝（ありがとう）11件

長い時間でしたが家族の関わりについて考えさせられる貴重な時間だという意見が多くありました。

★お話をいくつか紹介します

普段の家事に加え、仕事、子どもの勉強と遊び相手に疲れて、午後の時間についてウトウトしていました。ハッと目をさましたら、私の肩にひざかけと、お腹の上にぬいぐるみがありました。「娘がお母さん、寒いかと思って。ぬいぐるみは、持つと安心するでしょ？」とニコニコ。

ほんの少し前までは「おかあさん、ねないでよー!!」と大騒ぎだったのに、私が寝てしまっていた30分ほどの間に、一人でも遊び、寒くないか気づってくれるほどお姉さんになって・・・と成長に驚きました。

最初はお母さんに言われて、いやいやお手伝いをしていました。でも、やっていううちに、自分も楽しいと思ってお手伝いをするようになりました。

また、お母さんが言ってくれる「ありがとう」で、明日もがんばろうと思い、今もお手伝いを続けています。

ステイホーム中にお手伝いをしました。毎日水やりをやったり、せんたく物をとりこんだりしました。

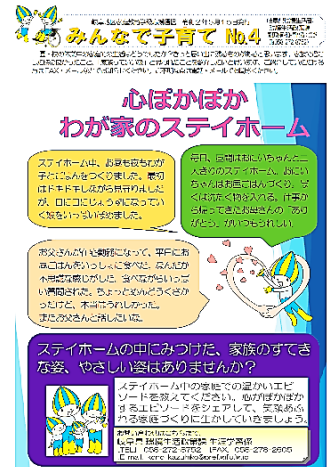
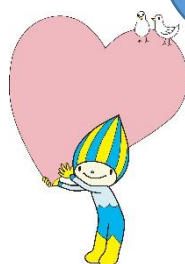
いちばんお手伝いの中で楽しかったのは、料理をすることでした。チャーハンを作ったり、パスタのめんをゆでたりしました。楽しかったです。

自粛生活が始まり、家にいる時間が増えた事で子どもとご飯を作る機会が増えました。子ども自身が作りたい物を決め必要な材料を準備。私自身は見守る程度にして子どもの思うように料理しました。

初めて本格的に包丁を使用し、皮をむいたり切ったりと親としてもどかしい所もたくさんありましたが、自分で作ったご飯はいつもよりおいしく感じるのか食事時の会話も自然に増えました。普段一緒にいる時間が少なかった分、子どもと一緒に何かをするということがなかったので貴重な時間を過ごすことができました。

たくさんのお話があります。

今後も紹介させていただきます。



岐阜市 日野南フェス お父さん達の熱い思い

岐阜市日野中央公園 9月5日(土) 16:00~

○主催者の願い

日野には昔夏祭りがあったが、今はない。自分の子どもも含めて日野を好きになってもらうために、地域イベントをして思い出に残る地域としたいという思いで集まった20代から40代のお父さんたちの集まりが「日野南FAM」春のラジオ体操から続いている夏の祭りを計画し、地域の子どもにも楽しんでもらいたい。



浴衣の記念写真

会場では 風船ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、フルーツつり
かき氷、ポップコーン、フランクフルト、焼きそば
ストラックアウト、バスケットゴール 飲食スペース が準備されました。

1、「挨拶いいね」

始まる前に集まっている子どもたちは、こちらから声をかける前に「こんにちは」と元気な挨拶をしてくれました。「あいさついいね」というと、『日野小はあいさつを大事にしているんです。』と何人もの子がいます。「この祭りは楽しみ？」と聞くと、「ずっと楽しみにしていた」「ヨーヨー釣り、焼きそばが楽しみ」「かき氷をたくさん食べたい」という声、当日は36度近い気温でした。

浴衣の子ども大人が多く、記念にスタッフが写真を撮り、その場でして本人に渡しています。今年の夏は浴衣を着て集まることが少なかったため集まりが良かったようです。

2、子どもは遊び、お話に夢中

公園なので、ベンチや階段がありますが、会場の真ん中に5メートル間隔でテーブル、いすが9か所ほど用意されています。あつという間に席が埋まります。子どもたちは、一緒に座って食べたり話したり、追いかけっこやストラックアウト、バスケットゴールで遊んだりしていました。中学生くらいの男の子が、ストラックアウトで小さな子が遊んでいるのを見ると、道具を準備したり、ボールを投げるように促したりして、助けています。

3、「大きくなったね」

学校でチラシをもらったので来たという中学生も多く来ていました、待ち合わせも多いようで、探していて会えたという子をこちらこちらで見かけました。こういった場所で会うことも楽しみなようです。会場では「大きくなったね」とベビーカーを引くお母さんに声をかける人や、小さな子を連れ親連れ同士が話す場面がとても多くあり、この祭りが地域のコミュニティづくりに役立っていると感じました。

4、密対策

マスク着用は案内に書かれてあります。受付では、動線を明確にして、距離を保ってもらう等の表示、放送での指示がありました。受付で手指消毒し、住所氏名などを記入し、体温チェック。チケット購入会場では予想以上に多くの来場者がいます。どうしても密になりやすくなるので、あちこち距離を取るように表示されていますが、ついつい近づきます。主催者からは何度も、「コロナ対策で、ソーシャルディスタンスを守ってください」という放送され、意識づけがされています。小学生が「ソーシャルディスタンス」と言っている姿から、声をかけることで、みんなが意識するようになったことがわかります。

晴天 400人以上の参加



間が広い飲食スペース



スーパーボールすくい



ストラックアウト



大きくなったね

○コメント

主催者から何度か、放送でこの祭りを行った意義を話されました。「子どもたちに日野を好きになってもらいたい。」という熱意があり、子どもたちや地域の方に伝わっているように感じました。暑い中でもマスクを着用し、1時間以上も並んで待つ姿があり、笑顔で互いに話す姿に地域のつながりが感じられました。「無茶苦茶楽しかった。」という子がいて、今年の夏、子どもたちの記憶に残るイベントができたことが素晴らしいです。春のラジオ体操から継続している活動が地域に浸透しており、地域の教育力はこういった「思い」のある活動に支えられているのだと感じました。これが家庭教育につながっていきますね。

山県市高富児童館「のびっこさん、集まれ〜」乳幼児教室 9月4日（金）



★ 6カ月ぶりの会

久しぶりの会です。児童館のイベントは8月に2回、この2017年生まれの子たちは6カ月ぶり。参加できない人はzoomによる方法も取られていました。

受付で、マスク着用確認、体調確認、非接触式の体温計。会場は普段小学生が使っている広い部屋。来館した子から、おもちゃを出して遊んでいます。顔見知りの子が来ると楽しそうです。

雨と雷が激しかったのですが、9組が参加されました。



●開会

○はじまりの合図・ わあお：自然に体が動いていて、楽しそうです。

○歌[虫の声]：楽しそうに歌い踊ります。

○自己紹介（母の時間）

コロナ禍でのステイホームの話が多く出された。・ストレスでイライラした。

・このように集まらないのがつらい。・落ち着かない。

・引きこもっていた。・祖父母を頼っていた。

という声が多く聞かれ、今回9月から再開ということが嬉しくてありがたい。

中には「家族と一緒に過ごせる時間がたくさんあったのが良かった」という声も

○ペープサート「おむすびころりん」（実習生）

：やはり物があると集中する。絵が見やすいということも大事。

○絵本タイム「どうぶついろいろかくれんぼ」はじまるよの手遊び

：集中して聞いています。自然に動物の名前が出てきます。絵本の読み聞かせは山県市全体で大事にされています。

○手遊び、触れ合いタイム

：ペンギン歩き、だっこ、ひこうき等 母とくっついて楽しそうに遊びます。

●閉会 歌「くまさん（さようなら）」

：歌と手遊びでおしまいです。楽しかったね。

お友だちとは、ちょっとはなれてあそぼう！
りょうで目のぼして、「のぼ」になって、ずがあたらないようにしようね。



コメント

教室を開催するには、いろいろな対策が必要ですが、それぞれ配慮され、新しい生活様式が定着していると感じました。

参加者から「久しぶりで、ありがたい。子どもが楽しそううれしい」というお話をされた。家にこもることは子育てではかなりつらいことを話されました。今回 zoom での参加が可能でしたが、大雨で雷の中でも、当日参加の方もいて、やはり集まれることの必要性が感じられました。久しぶりでも、親子は自然に動けます。子どもが楽しそうな姿が嬉しいですね。

この会の進行に意図的に自己紹介が入っているということが良かったですね。終了しても帰ることなく、一緒に話していたり、他の家族の子も交えて一緒に遊んでいたりとする姿は微笑ましく、この会を楽しみしている様子がうかがえます。

高富児童館の紹介

1階は小学生、2階は乳幼児親子用に授乳室や飲食ルームがあります。

遊戯室内には「木育ひろば」があります。さすが山県市ですね。

今回の「のびっこ」は高富地区が対象です。伊自良地区は「小鳩会」の名で、伊自良中央公民館いじらんど、美山地区は「つくしんぼ」の名で、西武芸公民館で行っています。

NPO法人かばさんファミリーが指定管理者として管理運営を行い、山県市子育て支援センターも併設しています。子育て支援コーディネーターが常駐し、いつでも気軽に相談できる体制を取り、市内外の子育てに関する情報も集めています。

また、ファミリーサポートセンターの事務局もあり、多機能型の児童館となっています。



木育ひろば



乳幼児遊戯室



市内の子育てに関する情報コーナー

